

# 【2011 年度】

## 『LOVE 子宮フォーラム』

### 1. 目 的

島根県で子宮頸がんが診断される方の7割を20～40代が占めており、若い年代の子宮頸がん罹患の増加が大きな問題となっているが、がん検診受診率は低率であり、罹患率が高い対象群への効果的・効率的な検診実施の必要性が高い。

また、昨年度、子宮頸がん予防対策の一環として、発症原因であるヒトパピローマウイルス（HPV）に対するワクチンが承認されたところであるが、ワクチン接種のみでは予防は確実ではなく、予防接種の意義や検診受診を含めた、子宮頸がんの予防について正しい知識の普及を行うことが重要である。

そこで、若年層を主対象とした県民を対象に、「子宮頸がん予防」をテーマとし、検診や早期発見の重要性について学ぶ啓発イベントを開催し、もって県民の健康増進を図る。

### 2. 主 催

細胞検査士会島根県支部  
公益財団法人島根県環境保健公社

### 3. 日 時

2011年4月9日(土) 13:00～16:00 【開場】 12:00

### 4. 場 所

島根県立大学短期大学部 松江キャンパス 大講義室

### 5. 内 容

#### 1) 講演 第1部：講演 13:05～14:10

基調講演『子宮頸がん予防について』

「子宮頸がんの基本的な理解」 島根県立中央病院母性診療部長 岩成治氏

「若者の実態と子宮頸がんの予防方法」 島根大学保健管理センター准教授 河野美江氏

活動報告『女子大生リボンムーブメント 結』

#### 第2部：シンポジウム 14:15～15:05

『どうして検診って大事なの？』

「活動紹介」 島根県細胞検査士会 小海志津子氏

松江市役所健康推進課 川上美和子氏

「ディスカッション～女子大生リボンムーブメントと地元学生」

女子大生リボンムーブメント「結」

島根県内学生（島根大学松江キャンパス、県立大学短期大学部松江・出雲キャンパス）

コーディネーター：島根大学保健管理センター 河野美江氏

#### 2) ミニライブ 15:05～15:35

六子ミニライブ

女子大生リボンムーブメント「結」の〇×クイズ ※粗品進呈

\*フォーラム終了後、学生交流会実施

\*山陰中央新報に記事掲載

#### 3) 大講義室入口（がん啓発展示コーナー、乳房モデル、パネル展示）

駐車場（検診車による子宮頸がんワンコイン検診）

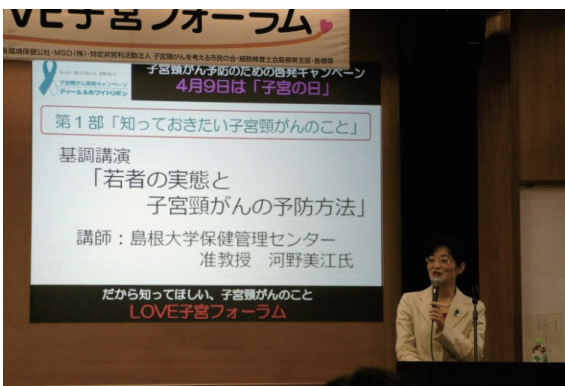
## 6.まとめ

一般参加者は約 160 名。専門家による講演や、医師、保健師、細胞検査士、女子大学生も参加したパネルディスカッションなどにより、子宮頸がんや検診に重要性について理解を深めることができた。

フォーラム後に実施した参加者による女子会では、子宮頸がんの啓発に関心をもつ島根県内の女子大学生や東京リボンムーブメントの大学生が意見を交換した。島根県内の女子大学生からは、自分たちにも何かできるのではないかとの意見があった。

今回のフォーラム実行委員会から、島根県内女子大学生による啓発組織を作る企画があり、参加者を募集しているとの説明をした結果、島根大学、島根県立大学より約 10 名のエントリーがあった。

フォーラムの様子は山陰中央新報に掲載した。子宮頸がんに関する知識と検診による予防の大切さは、当日参加していない市民に対しても広く伝わったと考える。



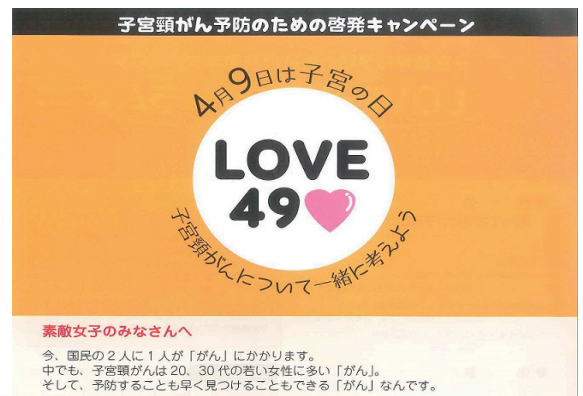
(講師：河野先生)



(パネルディスカッション)



(女子大生)



だから知ってほしい、子宮頸がんのこと  
**LOVE子宮頸フォーラム**

第1部 講演会  
知っておきたい、子宮頸がんのこと  
第2部 シンポジウム  
女子大学生が語るリアルボイス どうして検診って大事な？  
ミニイベント  
六子ライブ、子宮頸がんQ×クイズ

第1部 『知っておきたい子宮頸がんのこと』 13:05～14:10

基調講演  
「子宮頸がんの基本的な理解」……………島根県立中央病院母性診療部長 岩成治氏  
「若者の実態と子宮頸がんの予防方法」……………島根大学保健管理センター准教授 河野美江氏  
女子大生リボンムーブメントの活動報告

休憩 14:10～14:15

第2部 『一緒に語ろう～どうして検診って大事なの？』 14:15～15:05

「伝えたい！子宮頸がん予防メッセージ」……………松江市役所健康推進課 川上美和子氏  
女子大生が語るリアルボイス どうして検診って大事なの？……………女子大生リボンムーブメント 県内学生など  
コーディネーター/島根大学保健管理センター 河野美江氏 質疑応答

日時 2011.4/9(土) 13:00～15:40(開場)12  
場所 島根県立大学短期大学部 松江キャンパス 大講義室  
参加費 無料

うれしいプレゼント  
クイズに参加して  
抽選でGET  
しよう！

当日 先着80名  
1,000円で宮崎県産  
産直野菜セット  
(福袋)※HPPV抽選  
※受け付け  
10:00～15:00

【イベントチラシ】



(いなたひめとリボンムーブメントメンバー)

# 『女性の健康学習会』

～気軽に学べる、何でも話せる！～

## 1. 目的

LOVE 子宮フォーラムで啓発活動に興味を持った学生に対し、島根でも啓発活動を行う為にまず自分たちが子宮頸がんについて、学ぶ。

## 1. 日時

2011年8月19日(金) 15:00～16:00(松江会場)

2011年8月22日(月) 18:00～19:00(出雲会場)

## 2. 場所

松江会場：松江スティックビル 501 会議室

出雲会場：県立大学短期大学部出雲キャンパス 104 会議室

## 3. 参加人数

松江会場：学生 7名、実行委員 4名

出雲会場：学生 10名、実行委員 5名

## 4. 内容

講演 1) 「若い女性に多いがん、子宮頸がんについて知ろう」

講師：島根大学保健管理センター准教授 河野 美江先生(産婦人科医)

細胞検査士会島根県支部 小海 志津子さん(細胞検査士)

2) 座談会「何でも話そう、一緒に学ぼう！女性の健康相談室」

## 5. まとめ

子宮頸がんという病気が、日本で近年若い女性に増加していること。進行したがんでは子宮を摘出したために子供を産めなくなってしまった若い女性もいるという厳しい現状はあるが、20歳からの定期的ながん検診受診によって高い確率で予防できること、子宮頸がんワクチン接種も始まったことなどを学ぶことができた。

一方で、このような効果的な予防方法があるにもかかわらず、その知識がないためにがん検診受診率は特に若い女性で低い状態が続いていることから、このような正しい知識を広めることが大切であるということが出席者の間で確認できた。

9月に予定されている東京での啓発活動視察ツアーに参加する学生は、島根県でどのような方法で一般女性に伝えればよいのかを視察によって具体化したいという目標ができた。

(松江会場)



(出雲会場)





気軽に学べる、何でも話せる！

# 女性の健康学習会

☆☆

「女子カアップ」には、健康について知り、自己管理していくことが大事です。

特に最近、20～30代の女性に増加している子宮頸がんは、自覚症状がなく気づいたときには進行していることもあります。

そこで、子宮頸がんを中心に女性の健康について学び、日頃気になっているからだことやちょっと聞いてみたいことなどを、気軽に専門の先生に相談する学習会を開催します。

参加は自由です。お友達と一緒に、是非お越しください！

## ★日時と場所

【松江会場】

8月19日(金) 15時～16時

松江スティックビル 505 研修室(松江市白湯本町 43)

【出雲会場】

8月22日(月) 17時～18時

県立大学短期大学部出雲キャンパス 104 会議室

(出雲市西林木町 151)

## ★内容

「若い女性に多いがん、子宮頸がんについて知ろう」

講師:島根大学保健管理センター准教授 河野美江先生(産婦人科医)

細胞検査士会島根県支部 小海志津子さん(細胞検査士)

座談会「何でも話そう、一緒に学ぼう！女性の健康相談室」

お茶とお菓子をつまみながら…

ざっくばらんに話しましょう



♪事前申込みは不要。参加は無料です

♪当日、時間までに直接会場にお越しください

<問合先> TEL: 0852-22-5255



『2011年9月3日 山陰中央新報』

子宮頸(けい)がん 学んでもらう、将来的  
予防啓発の人材育成を  
狙った学習会がこのほ  
ど、出雲市西林木町の  
県立短大出雲キャン  
パスであった。参加  
した10～20代の学生  
が、ワクチン接種と検  
診の組み合わせで発症  
が防げることを学び、  
同世代への呼び掛け方  
法を学んだ。

県など官民でつくる  
実行委員会が企画。松  
江・出雲での勉強会  
を皮切りに、がん副庄  
運動に取り組み女子  
大生組織との意見交換  
などを通し、学生に基  
礎知識や啓発のつる  
動などを計画してい  
る。

### 同世代に予防啓発を

出雲 短大生が知識学ぶ

子宮頸がん

学習会には11人が参  
加。島根大保健管理セ  
ンターの河野美江准教  
授(48)と細胞検査士の  
小海志津子さん(46)の  
講義後、座談会が設け  
られた。学生は「誰で  
も発症するリスクがあ  
ることを知った」「20  
代前半の検診受診率5  
・6割(2007年全  
国)には驚いた」など  
と感想を話し、今後の  
活動の糸口を探った。  
看護学科2年の足枝  
梢さん(20)は「同年代  
の女性だからこそ啓  
発方法があるはず。そ  
れを学び実践したい」  
と話した。

10～20代への子宮頸がんの予防啓発を探  
る県立短大出雲キャンパスの学生

# 『県内学生と先進的な子宮頸がんに関する 啓発活動実践者の交流事業 in 東京』

## 1. 目的

東京 RM(リボンムーブメント)との交流会や、対がん協会、NPO 法人子宮頸がんを考える市民の会、子宮頸がんサバイバーの先進的な啓発活動報告を通じて、これから島根県でおこなう女子大学生による啓発活動の具体的内容を検討する。

## 2. 日時

東京ツアー : 2011 年 9 月 13 日(火) 東京 RM 交流会(1 班)  
2011 年 9 月 14 日(水) 啓発活動報告会(1 班, 2 班)  
2011 年 9 月 15 日(木) 東京 RM 交流会(2 班)  
交流会報告会 : 2011 年 10 月 5 日(水) 18:00~19:00(場所: 出雲ふぁっと)

## 3. 参加人数

東京ツアー : 学生 30 名、実行委員 4 名  
交流会 : 学生 19 名、実行委員 6 名

## 4. 内容

### (1) 女子大生 RM との交流

【場所】 東京都内

【参加者】 学生 : 24 人、RM : 5 人

【内容】 ・ 女子大生が実施する啓発活動に関する情報提供 (RM)  
・ 啓発冊子作成、出前講座の実施、同年代への啓発活動の実際等  
・ 意見交換会

### (2) 啓発実践者との交流

【場所】 MSD 株式会社 (東京都千代田区九段北 13-12 北の丸スクエア)

【参加者】 学生 : 24 人、RM : 5 人、実行委員 : 4 人

【内容】 ・ 地域や企業での子宮頸がん啓発の実際～具体的な啓発活動と伝えたいメッセージ  
・ 企業としての予防活動や患者支援～MSD 株式会社  
・ 意見交換会  
・ MSD 見学

## 5. まとめ

東京では様々なひとが色々な方法で啓発活動をしていることを学んだ。学生からは特にサバイバーの方の経験談が印象的であったとの感想が多く寄せられた。話かける女性がサバイバーということも想定して話かけることも大切であり、もっと深い知識を得ないといけないという意見や、若い女性にとって大事なことからこそ、自分たち大学生が伝えることは重要であるとの意見があった。

今後の活動としては、10 月の島根大学学園祭や 11 月「おとめ在月」で啓発活動を実施すること、情報共有のためにミクシー等でのネットワーク構築などが決定した。

東京 RM と一緒に活動するとの案もでたが、島根県内の大学生がだれでも参加できる組織として独自に活動することとなった。引き続き東京 RM との良好な関係も継続することとなった。組織のロゴや名称については次回までの検討課題となった。



(東京 RM メンバーからの活動紹介)

学校での啓発や、グループワークの方法、アンケート調査の方法など具体的な活動を学んだ。

東京 RM メンバーといなたひめ PJ メンバーで班に分かれて意見交換会。

①「どう話しかけたらよいか？」

「若い女性の関心を向けるには？」

活発な話し合いで盛り上がった。



(意見交換会①)



(意見交換会②)

班ごとに話し合いの結果をまとめて発表。

「これからどう活動するか」が少しずつ見えてきた！



(報告会)

東京での交流会から帰った後、考えた事、感じた事を発表した。

子宮頸がんサバイバー阿南さんの話を聞いて、活動する決意を固めた。